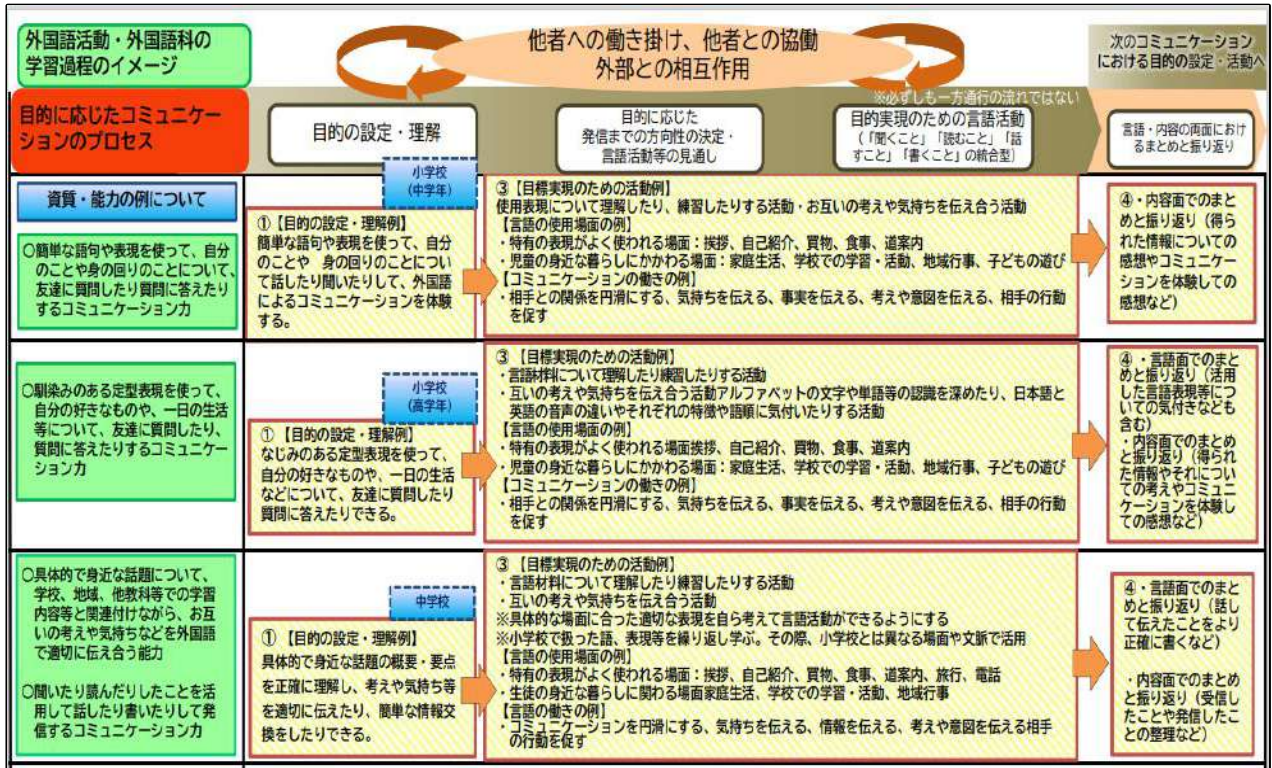


外国語



（参考資料）幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）別添資料



学年・題材名：小学校6年・Unit6 This is my town.

見方・考え方：交流したことがある外国の方に、自分が住む町のおすすめのものやことを外国語で紹介するために、相手の好みや興味・関心を基に、名所や食べ物等について考え、相手が町を訪れた時により思い出を作れるように、情報を整理しながら自分の考え等を持ち、表現や内容等を再構築する。

ICTの活用：1人1台端末を活用し、各自が必要なタイミングや回数に応じて、英語表現を身に付けたり、表現内容を検討したりする。

学習場面：相手に自分の町のおすすめのものやことについて紹介する場面

＜コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を理解する＞

Aさんのクラスでは、単元の冒頭で、以前交流した外国に住む方からのビデオメッセージを受け取りました。ビデオの中で「また日本に行ったら、ぜひみんなの町を訪れたい。自分の子どもたちにも、その町でよい思い出を作ってほしいんだ」という願いを知りました。

相手の願いを知った児童は、自分の町でよい思い出を作ってもらおうという目的を持ち、自分が伝えたいことやもの、また自分の考えや思いについて、友達と伝え合った。

＜目的達成のため具体的なコミュニケーションを行う＞

Aさんは、自分が英語で伝える際に必要な表現等について、クラウド上に保存されている「英語表現集」を日常的に利用し、録音と再生を繰り返して自分の表現や発音を確認していました。

【クラウド上に「英語表現集」として蓄積する】

教師は、日常の授業で児童が伝えたい単語や表現の仕方等をクラス全体で共有し、ALTと協力してその都度録音して、クラウド上の「英語表現集」に保存・共有します。児童は必要な時に単語や音声を確認できます。

＜学習の振り返り＞

友達と考えを紹介し合った後、本時の学びを生かし、自分の紹介を端末に録画しました。前時までの自分の表現と比較してその高まりを実感し、次の課題について考えていました。

- Point
- ・単元途中の自分のやり取りの様子を録音しておく、単元の終末に現在の自分の姿と比較することができ、自己の高まりを実感することができます。
 - ・これまで学んだ表現などを録音して、クラウド上に英語表現集として保存していくと、必要に応じていつでも参照することができます。

本事例の
ポイント